

医の原則と態度

1 単位 4 年 (後期)

Principle of medicine and medical communication

河野 文昭・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 大石 美佳・講師 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

篠原 千尋・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 吉田 登志子・非常勤講師 / 岡山大学, 村澤 普恵・非常勤講師 / オフィス U.I.

【授業目的】 歯科医療及び歯科医学の研究における倫理の重要性を理解し、患者本位の医療を実践するためのコミュニケーション能力を身につける。

【授業概要】 患者の権利を理解し、歯科医療や歯科医学の研究における倫理の重要性を理解する。また、患者本位の医療を実践するために、良好な人間関係を築くコミュニケーション能力を身につける。

【授業形式】 講義

【授業方法】 1~4 回 講義式, スモールグループディスカッション, 5~15 回 講義式, スモールグループディスカッション, シミュレーション, ビデオを利用する。

【授業場所】 第 4 講義室

【授業テーマ】 歯科医療における医の倫理とコミュニケーション

【キーワード】 国際規範, 医療倫理, 医療面接

【到達目標】

(<> 内はコアカリ対応)

1. 患者の権利が説明できる。 <A-1-1>
2. 患者の自己決定権を説明できる。 <A-1-2,3>
3. 医の倫理に関する規範を概説できる。 <A-2-1,2,>
4. 生と死に関する倫理問題を説明できる。 <A-2-3>
5. 歯科医師の法的義務を列挙できる。 <A-3-5>
6. 患者との信頼関係を築くことができる。 <A-3-1,2,3,4>
7. インフォームドコンセントの重要性を説明できる。 <A-4-1,2,3,4,5>
8. コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 <B-(1)-1,2>
9. 医療面接の重要性を説明できる。 <B-(2)-1>
10. 医療面接が実践できる。 <B-(2)-2,3,4,5,6>
11. 地域社会における歯科医師の役割を説明できる。 <B-(3)-1,2>

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	医の倫理	患者の尊厳	患者の権利	1,2	河野
2.	〃	生命倫理の歴史	国際規範	3,4	〃
3.	〃	歯科医師の責務	法的義務と責任	5	〃
4.	〃	インフォームド・コンセント	定義と重要性	6,7	〃

5~6.	医療コミュニケーション	コミュニケーションとは	一般コミュニケーション	8	大石
7.	〃	〃	接遇	1,2,7,8,	〃
8~10.	〃	医療面接	医療面接総論	9,10	吉田
11~15.	〃	〃	医療面接各論・相互実習	1,2,6,10,11	村澤,大石,篠原

【成績評価】 シミュレーション試験を行う。

100 点満点で、60 点以上を合格とする。

【再試験】 1 回のみ行う。

【教科書】

- ◇ 参考書: 「医療倫理」 勁草書房, 2000
- ◇ 参考書: 「歯科臨床研修マニュアル できる研修医の条件 臨床研修をはじめの前に」, 永末書店, 2003
- ◇ 参考書: 「はじめての医療面接—コミュニケーション技法とその学び方」, 医学書院, 2000

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217267>

【連絡先】

- ⇒ 河野 (088-633-9180, fumiaki@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金18:00~ 19:00/6F 総合歯科教授室))
- ⇒ 大石 (088-633-9181, mi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金18:00~ 19:00/6F 総合歯科医局))
- ⇒ 篠原 (総合歯科診療部, 088-633-9181, chihiro@dent.dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月~ 金18:00~ 19:00/6F 総合歯科医局))